

令和5年度 学校評価アンケート（分析及び対策）No.1

| 学校教育目標(重点的取組) | 各項目 | | 目指す姿 | N0 | 対象 | 質問項目 | R4前期 | 前期 | 1年 | 2年 | 3年 |
|---|---------|-------------------------------------|-------------------------------------|----|----------------------|--|------|------|-----|-----|-----|
| I「個別最適な学び」と「協働的な学び」を往還し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 | 個別最適な学び | 主体的・対話的で深い学び | 一人一人が学習進度や能力、関心等に応じて、学習を進めていくことができる | 1 | 教職員 | 生徒が目的を持ち、学習に取り組めるよう個に応じた指導を行っている | 100% | 91% | | | |
| | | | | | 生徒 | 得意分野や好きな学習内容を発見し、自信につながるような学習をしている。 | 93% | 93% | 96% | 95% | 89% |
| | | | | | 保護者 | お子さんは、学習する目標を持って取り組んでいる | 87% | 85% | 83% | 85% | 86% |
| | | | | 2 | 教職員 | 生徒は試験などに向けて、計画を立てながら取り組んでいる | 93% | 100% | | | |
| | | | | | 生徒 | 試験に向けて、目標に合った計画を立てながら実践している | 95% | 86% | 90% | 86% | 81% |
| | | | | | 保護者 | お子さんは、計画的に学習に取り組んでいる | 86% | 72% | 71% | 68% | 76% |
| | | | | 3 | 教職員 | つまずきや困りを克服するための適切な支援を行っている | 74% | 86% | | | |
| | | | | | 生徒 | 授業でわからないところを、調べたり質問したりして、そのままにしないようにしている | 97% | 91% | 88% | 95% | 90% |
| | | | | | 保護者 | お子さんは、学習でのつまずきを、自分に合った方法で解決しようとしている | 77% | 81% | 84% | 78% | 79% |
| | | | | 4 | 教職員 | 授業では「めあて・振り返り」、「課題・まとめ」を提示し、指導と評価の一体化を図っている | 86% | 91% | | | |
| | | | | | 生徒 | 授業の振り返りでは、「めあて」が達成できたかを振り返り、次の学習につなげようとしている | 92% | 90% | 90% | 90% | 91% |
| | | | | 5 | 教職員 | 生徒の主体的な学びを促す「問い」を持たせる工夫をしている | | 95% | | | |
| | 生徒 | 授業では、解決したい課題を見つけ、解決に向け、見通しを持ち学習している | 95% | | 91% | 91% | 92% | 90% | | | |
| | 協働的な学び | 協働的な学び | 多様な人々と協働しながら、よりよい学びを生み出すことができる | 6 | 教職員 | 生徒同士の異なる考え方を組み合わせ、よりよい学びを生み出すよう工夫している | 93% | 100% | | | |
| | | | | | 生徒 | 授業の交流する場面では、自分の意見を伝え、仲間の話を参考にするなどして、自分の考えを深めるようにしている | 94% | 97% | 97% | 98% | 98% |
| | | | | | 保護者 | お子さんは、他者の話を聞き、自分の考えに生かすことができている | 91% | 87% | 92% | 81% | 85% |
| | | | | 7 | 教職員 | 生徒の主体性や協調性を育むため、多様な人々と協働する機会を設定している | 80% | 95% | | | |
| | | | | | 生徒 | 授業や学校行事等で多様な人々と協働することを通して、主体性や協調性が身についてきた | 95% | 95% | 96% | 96% | 92% |
| | | | | | 保護者 | お子さんには、主体性や協調性が身についてきた | 91% | 92% | 92% | 90% | 92% |
| | ICTの活用 | ICTの活用 | ICT端末を学習道具として活用することができる | 8 | 教職員 | 授業において、ICT端末等を活用する機会を積極的に設けている | 87% | 95% | | | |
| | | | | | 生徒 | ICT端末等を積極的に活用して学習などに取り組んでいる | 97% | 96% | 95% | 97% | 95% |
| | | | | | 保護者 | お子さんは、ICT端末等を積極的に活用して学習などに取り組んでいる | 90% | 87% | 87% | 85% | 89% |
| | | | | 9 | 教職員 | 生徒は、ICT端末を正しく使っている | 100% | 77% | | | |
| | | | | | 生徒 | ICT端末を正しく使っている | 98% | 99% | 99% | 99% | 99% |
| 保護者 | | | | | お子さんは、ICT端末を正しく使っている | 93% | 92% | 90% | 96% | 91% | |

【個別最適な学び】

生徒の肯定値は、概ね9割を超えている。「なぜ学ぶのか」「どのように学習に取り組むのか」といった学習意義を見出すことを促してきた成果と考える。しかし、「計画を立てて学習に取り組むこと」や「問題や疑問点を発見し解決すること」を課題と考える生徒も多い。今年度から、「生徒自身が自らの学習状況を振り返り、自分自身の学習を調整すること促す学習評価の在り方」について研究について研究を推進していく中で授業改善及びその課題解決に努めたい。

【協働的な学び】

教職員および生徒の肯定値は高く、概ね一致している。学習委員会を中心に取り組んでいる『学びを紡ぐ5つの約束』の啓発を今後も続けていく。また、授業の中で協働の場面や考えを交流し深め合う場面を取り入れ、有効であったかを検証したり、授業研究会に生徒を参加させたりしながら『共に創る授業』を目指していく。

【ICTの活用】

教職員自身が授業で端末の活用場面を見出し、積極的に取り組むことが日々の授業で定着してきた。これまでの実践交流の成果と考えられる。「端末を学習道具として正しく活用しているか」については、教職員や保護者と生徒の評価に差がある。生徒が自分の使い方を丁寧に振り返り、意識を高めるためにGIGAサポ※が作成した『端末の使用の約束』を再確認することや情報社会における「端末との付き合い方」について学習機会を設ける。※GIGAサポ：生徒と共にICTを活用した授業を推進するために組織したチーム（附中×GIGAサポーターズチーム）

令和5年度 学校評価アンケート（分析及び対策）No.2

| 学校教育目標(重点的取組) | 各項目 | 目指す姿 | N0 | 対象 | 質問項目 | R4前期 | 前期 | 1年 | 2年 | 3年 |
|--|-----------|---------------------------|----|-----|---|------|------|-----|-----|-----|
| II 自主的・主体的・創造的な取り組みを引き出す生徒会活動等、魅力的な教育活動の展開 | 生徒会活動 | 自ら生徒会活動・学級活動等に取り組むことができる | 10 | 教職員 | 生徒に学校教育目標達成のため、「6期ステップ」（各期）の目標を意識して取り組ませている | 87% | 82% | | | |
| | | | | 教職員 | 生徒は、「6期ステップ」を意識して取り組んでいる | | 77% | | | |
| | | | | 生徒 | 学校教育目標達成のため、「6期ステップ」の目標を意識して取り組んでいる | 92% | 88% | 88% | 88% | 87% |
| | | | 11 | 教職員 | 生徒は、生徒会、委員会、クラスの係活動に積極的に取り組んでいる | 80% | 95% | | | |
| | | | | 生徒 | 生徒会、委員会、クラスの係活動にリーダーシップやフォロワーシップを発揮して活動している | 85% | 84% | 82% | 82% | 87% |
| | | | | 保護者 | お子さんは、生徒会、委員会、クラスの係活動に自主的に取り組んでいる | 87% | 85% | 88% | 83% | 84% |
| | | | 12 | 教職員 | 生徒は、学校行事（体育大会、青垣祭等）に積極的に取り組んでいる | 93% | 100% | | | |
| | | | | 生徒 | 学校行事（体育大会、青垣祭等）に積極的に取り組んでいる | 96% | 96% | 97% | 97% | 94% |
| | | | | 保護者 | お子さんは、学校行事（体育大会、青垣祭等）に積極的に取り組んでいる | 90% | 94% | 96% | 91% | 93% |
| | 総合的な学習の時間 | 自ら課題を見付け、自己の生き方を考えることができる | 13 | 教職員 | 総合的な学習の時間では、生徒が課題を設定する場を設けている | 87% | 86% | | | |
| | | | | 生徒 | 総合的な学習の時間では、自分たちの取り組む課題を設定しながら学習に取り組んでいる。 | 89% | 95% | 93% | 97% | 96% |
| | | | 14 | 教職員 | 調べたことを資料や文章にまとめさせ、発表内容の組み立てを工夫するよう促している | 80% | 95% | | | |
| | | | | 生徒 | 自分たちの調べたことを、資料や文章、話の組み立てなどを工夫しながら発表できた | 91% | 91% | 90% | 93% | 90% |
| | | | 15 | 教職員 | 総合的な学習の時間では、本物に触れる機会を意識した単元計画をもとに指導している | | 95% | | | |
| | | | | 生徒 | 総合的な学習の時間での活動や学びは、将来の自分のためになっていると感じている | | 92% | 97% | 91% | 89% |

【生徒会活動】

今年度は『6期ステッププロジェクト』を活動の要として、生徒会活動と学年経営のつながり大事にしている。目標を意識できていない生徒は、自己評価で12%、教職員からみても23%である。期の目標設定、達成指標の共有、取組内容・指標の設定を丁寧に扱い、『6期ステッププロジェクト』の意義の浸透を図る必要がある。教職員は、学年部で設定する各期の重点課題を意識しながら、各期の反省と目標の設定を運営委員会で共有し、達成指標や取組内容でPDCAサイクルを回すよう生徒に促し続けたい。

また学校行事では、「行事で身につけた資質・能力を日常生活に還元する。日常生活で積み上げた成果を行事に生かす。」という意識を引き続きもつように促すことが大事である。専門委員会の活動では、「達成された姿」等を意識させ、生徒と教師の目指す姿を共有していきたい。

【総合的な学習の時間】

肯定的な回答が多くあり、数値が昨年より高い。これまでの3年間を見据えた年間指導計画を整理してきた成果だと考える。授業の継承と改善を目的とした単元プランシートを活用した研修を重ね、主体的な取組を促し「だいたいそう思う」から「そう思う」に変わるように実践を積み重ねたい。

令和5年度 学校評価アンケート（分析及び対策）No.3

| 学校教育目標(重点的取組) | 各項目 | 目指す姿 | N0 | 対象 | 質問項目 | R4前期 | 前期 | 1年 | 2年 | 3年 |
|-----------------------------|------|-------------------------------|--------|----------------------------|------------------------------|------|----------------|-----|-----|-----|
| III 心と命を守る日々の教育活動の充実と組織的な推進 | 生活指導 | 基本的な生活習慣を身につけ、自ら考えて行動することができる | 16 | 教職員 | 生徒は、規則正しい生活を送ることができている | 80% | 86% | | | |
| | | | | 生徒 | 規則正しい生活を送ることができている | 83% | 77% | 80% | 79% | 72% |
| | | | | 保護者 | お子さんは、規則正しい生活を送ることができている | 83% | 82% | 82% | 85% | 79% |
| | | | 17 | 教職員 | 生徒は、あいさつすることができている | 66% | 82% | | | |
| | | | | 生徒 | 自分からあいさつすることができている | 95% | 96% | 97% | 93% | 96% |
| | | | | 保護者 | お子さんは、自分からあいさつすることができている | 90% | 87% | 88% | 83% | 89% |
| | | | 18 | 教職員 | 生徒は、時間いっぱい清掃に取り組んでいる | 80% | 91% | | | |
| | | | | 生徒 | 自分から時間いっぱい清掃に取り組んでいる | 98% | 97% | 97% | 97% | 97% |
| | | | 心と命の教育 | 自分も他の人も大切に、仲間同士で支え合うことができる | 19 | 教職員 | 生徒は、自尊感情が高いと思う | 80% | 73% | |
| | 生徒 | 自分にはよいところがあると思う | | | | 80% | 77% | 74% | 80% | 76% |
| | 保護者 | お子さんの自尊感情は高い方だと思う | | | | 87% | 82% | 85% | 80% | 80% |
| | 20 | 教職員 | | | 生徒の悩みや相談に親身に応じている | 86% | 95% | | | |
| | | 生徒 | | | 先生は、あなたの悩みや相談に親身に応じてくれる | 93% | 91% | 93% | 90% | 90% |
| | | 保護者 | | | 先生は、お子さんの悩みや相談に親身に応じてくれる | 84% | 92% | 95% | 89% | 90% |
| | 21 | 教職員 | | | 学級は、他の人の思いや考えを尊重する雰囲気になっている | 87% | 95% | | | |
| | | 生徒 | | | 学級は、他の人の思いや考えを尊重する雰囲気になっている | 91% | 94% | 97% | 94% | 90% |
| | | 保護者 | | | お子さんの学級は、生徒の思いや考えを尊重する雰囲気がある | 95% | 94% | 97% | 94% | 93% |
| | 22 | 教職員 | | | いじめのない学校・学年・学級づくりができている | 100% | 100% | | | |
| | | 生徒 | | | いじめのない学校・学年・学級づくりができていると感じる | 96% | 93% | 93% | 94% | 91% |
| | | 保護者 | | | いじめのない学校・学年・学級づくりができていると感じる | 94% | 95% | 94% | 96% | 96% |
| | 23 | 生徒 | | | 授業以外で部活動や家庭等での体力づくりができている | 79% | 75% | 80% | 78% | 66% |
| 保護者 | | お子さんは部活動や家庭等で体力づくりをしている | | | 69% | 74% | 78% | 80% | 64% | |

【生活指導】

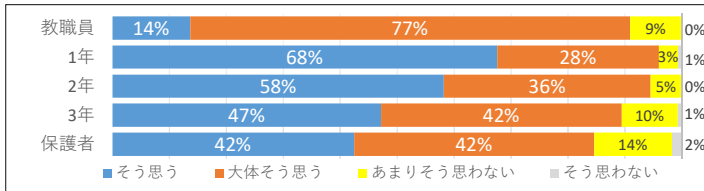
16の項では教職員の数値は87%と例年より高い数値になっているが、生徒の数値と9%の差が見られる。3年生の数値が低くなる傾向は今年も同様である。受験に向けて勉強時間が増えてきているためと推察される。家庭と連携して実態を把握することで、支援を継続したいと考える。17、18の項では、教職員と生徒の数値の差が例年に比べ小さいが、「あいさつ」はまだまだ14%の開きがある。生徒会の活動を通して、生徒自身「しないといけない」とは感じているが「なぜしたほうがよいのか」まで深く考えることができていない。活動の意義や必要性を教職員を含め、全校生徒と共に考える機会を設定したい。

【心と命の教育】

19の項では、特に1年生と3年生の数値が低い。3年生は受験不安から低い傾向にあるが、ここ数年下がり気味の傾向にある。今年度も自己理解・他者理解を促す人間関係プログラムやSSTを実施するようにしている。20の項ではR4前期に比べ教職員の数値が9%上昇している。それに伴って保護者の数値も高くなっていることから教職員のアプローチが保護者にも理解されていることが伺える。今後も積極的に生徒理解をする必要がある。21、22の項は例年同様の数値になっているが、日常の中で生徒の様子をよく観察し、自分勝手な行動やいじめは絶対に許さないという毅然とした態度で対応していく。

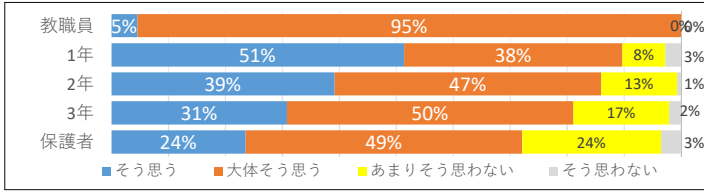
令和5年度 学校評価アンケート【前期】教職員・全体比較

I 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた、主体的・対話的で深い学びの実現



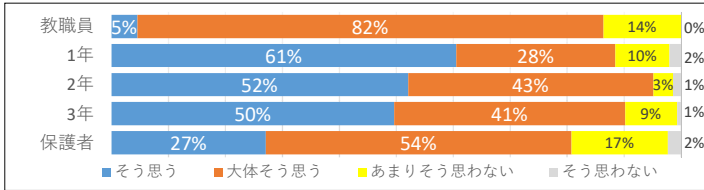
I_1

教職員 生徒が目的を持ち、学習に取り組めるよう個に応じた指導を行っている
 生徒 得意分野や好きな学習内容を発見し、自信につながるような学習をしている。
 保護者 お子さんは、学習する目標を持って取り組んでいる



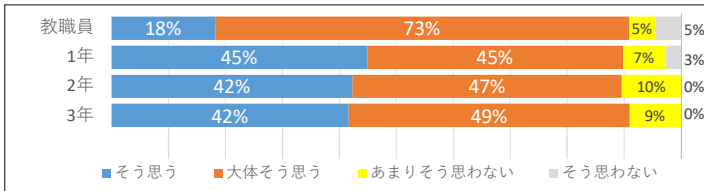
I_2

教職員 生徒は試験などに向けて、計画を立てながら取り組めている
 生徒 試験に向けて、目標に合った計画を立てながら実践している
 保護者 お子さんは、計画的に学習に取り組めている



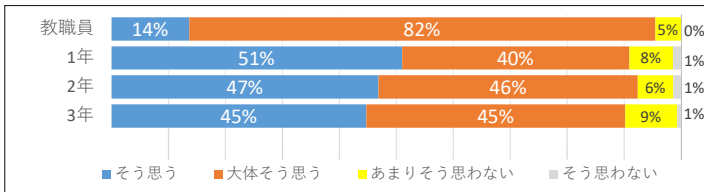
I_3

教職員 つまずきや困りを克服するための適切な支援を行っている
 生徒 授業でわからないところを、調べたり質問したりして、そのままにしないようにしている
 保護者 お子さんは、学習でのつまずきを、自分に合った方法で解決しようとしている



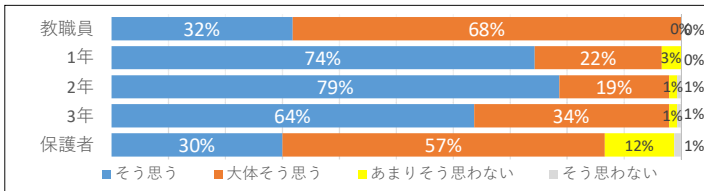
I_4

教職員 授業では「めあて・振り返り」、「課題・まとめ」を提示し、指導と評価の一体化を図っている
 生徒 授業の振り返りでは、「めあて」が達成できたかを振り返り、次の学習につなげようとしている



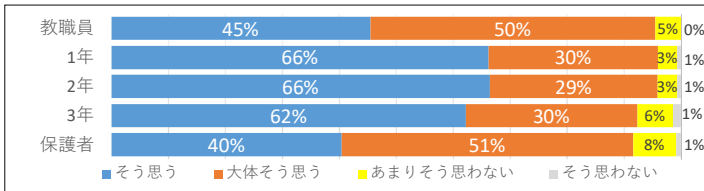
I_5

教職員 生徒の主体的な学びを促す「問い」を持たせる工夫をしている
 生徒 授業では、解決したい課題を見つけ、解決に向け、見通しを持ち学習している



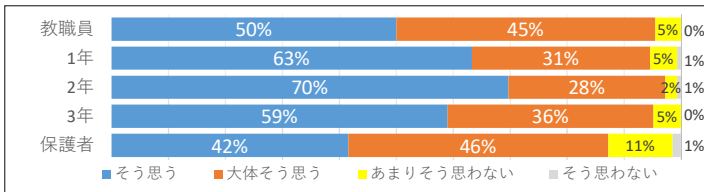
I_6

教職員 生徒同士の異なる考え方を組み合わせ、よりよい学びを生み出すよう工夫している
 生徒 授業の交流する場面では、自分の意見を伝え、仲間のお話を参考にすることで、自分の考えを深めるようにしている
 保護者 お子さんは、他者の話を聞き、自分の考えに生かすことができている



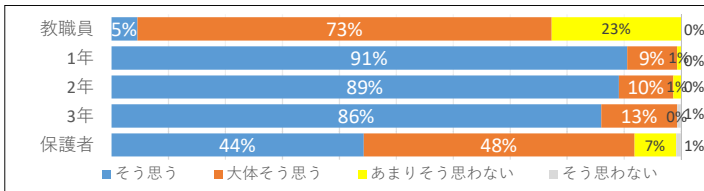
I_7

教職員 生徒の主体性や協調性を育むため、多様な人々と協働する機会を設定している
 生徒 授業や学校行事等で多様な人々と協働することを通して、主体性や協調性が身についてきた
 保護者 お子さんには、主体性や協調性が身についてきた



I_8

教職員 授業において、ICT端末等を活用する機会を積極的に設けている
 生徒 ICT端末等を積極的に活用して学習などに取り組んでいる
 保護者 お子さんは、ICT端末等を積極的に活用して学習などに取り組んでいる

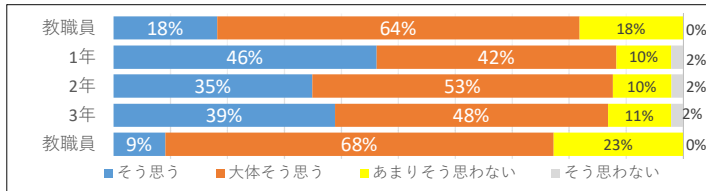


I_9

教職員 生徒は、ICT端末を正しく使っている
 生徒 ICT端末を正しく使っている
 保護者 お子さんは、ICT端末を正しく使っている

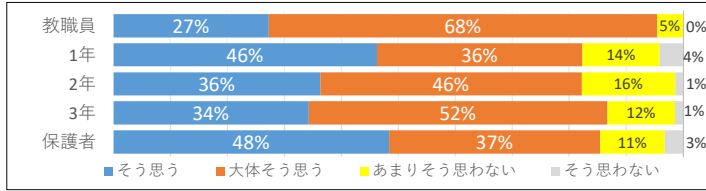
令和5年度 学校評価アンケート【前期】教職員・全体比較

Ⅱ 自主的・主体的・創造的な取り組みを引き出す生徒会活動等、魅力的な教育活動の展開



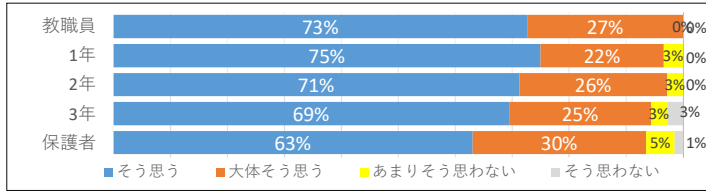
Ⅱ_1

教職員 生徒に学校教育目標達成のため、「6期ステップ」(各期)の目標を意識して取り組ませている
 生徒 学校教育目標達成のため、「6期ステップ」の目標を意識して取り組んでいる
 教職員 生徒は、「6期ステップ」を意識した取り組んでいる



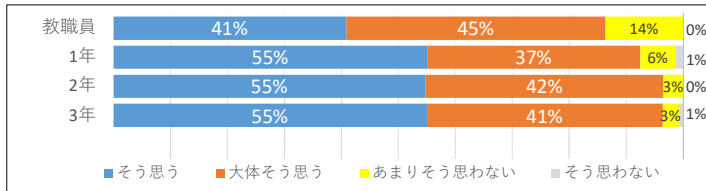
Ⅱ_2

教職員 生徒は、生徒会、委員会、クラスの係活動に積極的に取り組んでいる
 生徒 生徒会、委員会、クラスの係活動にリーダーシップやフォローシップを発揮して活動している
 保護者 お子さんは、生徒会、委員会、クラスの係活動に自主的に取り組んでいる



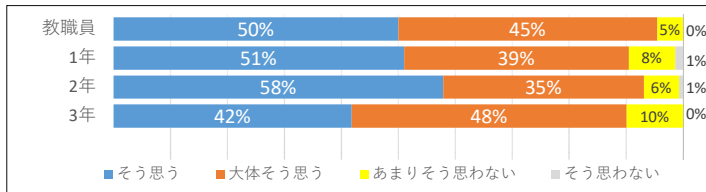
Ⅱ_3

教職員 生徒は、学校行事(体育大会、青垣祭等)に積極的に取り組んでいる
 生徒 学校行事(体育大会、青垣祭等)に積極的に取り組んでいる
 保護者 お子さんは、学校行事(体育大会、青垣祭等)に積極的に取り組んでいる



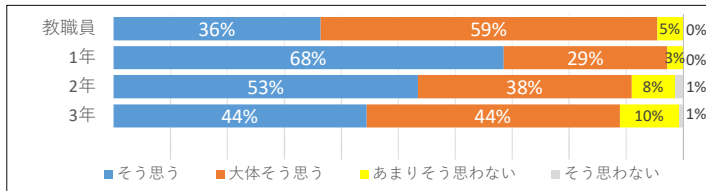
Ⅱ_4

教職員 総合的な学習の時間では、生徒が課題を設定する場を設けている
 生徒 総合的な学習の時間では、自分たちの取り組む課題を設定しながら学習に取り組んでいる。



Ⅱ_5

教職員 調べたことを資料や文章にまとめさせ、発表内容の組み立てを工夫するよう促している
 生徒 自分たちの調べたことを、資料や文章、話の組み立てなどを工夫しながら発表できた

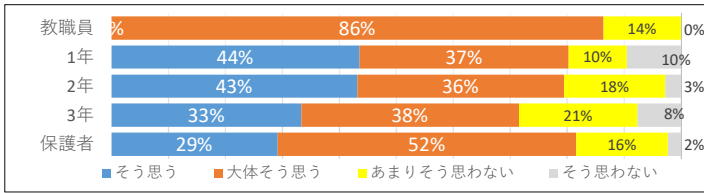


Ⅱ_6

教職員 総合的な学習の時間では、本物に触れる機会を意識した単元計画をもとに指導している
 生徒 総合的な学習の時間での活動や学びは、将来の自分のためになっていると感じている

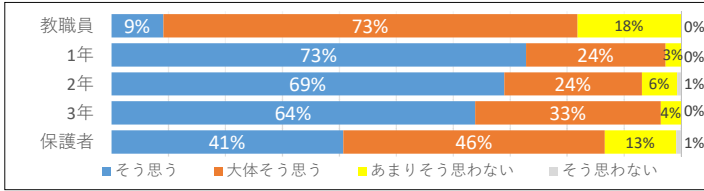
令和5年度 学校評価アンケート【前期】教職員・全体比較

Ⅲ 心と命を守る日々の教育活動の充実と組織的な推進



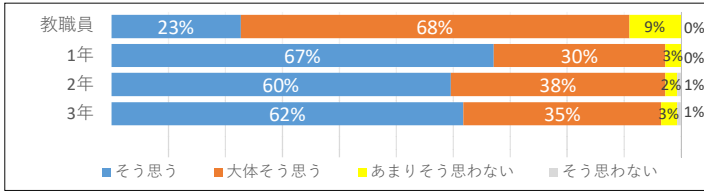
Ⅲ_1

教職員 生徒は、規則正しい生活を送ることができている
 生徒 規則正しい生活を送ることができている
 保護者 お子さんは、規則正しい生活を送ることができている



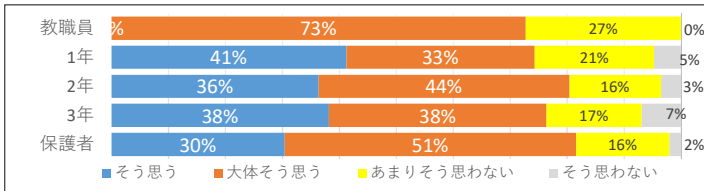
Ⅲ_2

教職員 生徒は、あいさつすることができている
 生徒 自分からあいさつすることができている
 保護者 お子さんは、自分からあいさつすることができている



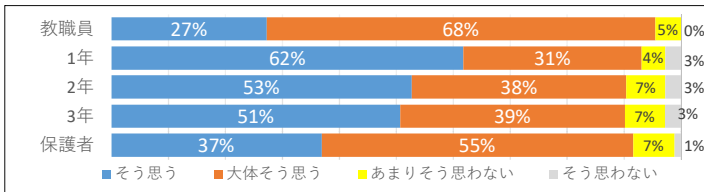
Ⅲ_3

教職員 生徒は、時間いっぱい清掃に取り組んでいる
 生徒 自分から時間いっぱい清掃に取り組んでいる



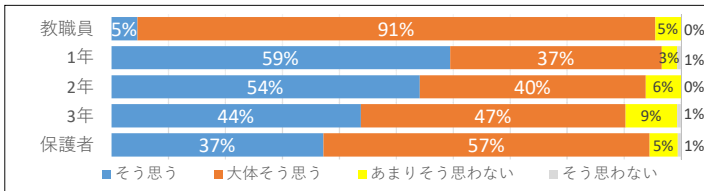
Ⅲ_4

教職員 生徒は、自尊感情が高いと思う
 生徒 自分にはよいところがあると思う
 保護者 お子さんの自尊感情は高い方だと思う



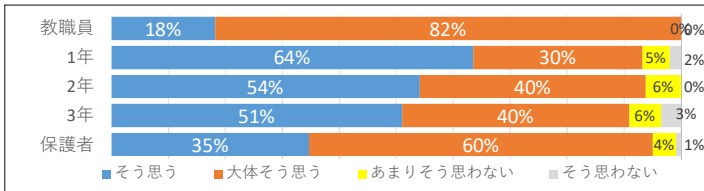
Ⅲ_5

教職員 生徒の悩みや相談に親身に応じている
 生徒 先生は、あなたの悩みや相談に親身に応じてくれる
 保護者 先生は、お子さんの悩みや相談に親身に応じてくれる



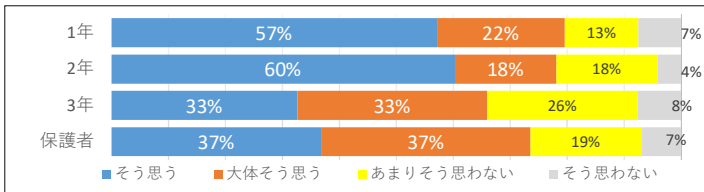
Ⅲ_6

教職員 学級は、他の人の思いや考えを尊重する雰囲気になっている
 生徒 学級は、他の人の思いや考えを尊重する雰囲気になっている
 保護者 お子さんの学級は、生徒の思いや考えを尊重する雰囲気がある



Ⅲ_7

教職員 いじめのない学校・学年・学級づくりができている
 生徒 いじめのない学校・学年・学級づくりができていると感じる
 保護者 いじめのない学校・学年・学級づくりができていると感じる



Ⅲ_8

保護者 お子さんは部活動や家庭等で体力づくりをしている
 生徒 授業以外で部活動や家庭等での体力づくりができている